

# グローバル・スタディ

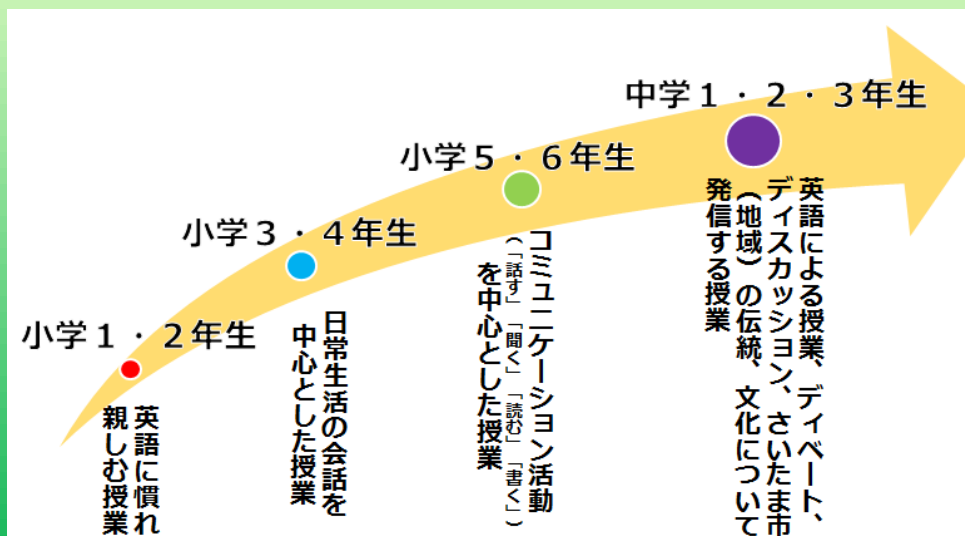


## <目標>

～ 将来、グローバル社会で主体的に行動し、たくましく豊かに生きる児童生徒の育成 ～

## <目指す子ども像>

- ・外国の方と英語で積極的にコミュニケーションを図ることができる子ども
- ・日本やさいたま市の伝統・文化に誇りを持ち、将来にわたり、社会に貢献する子ども

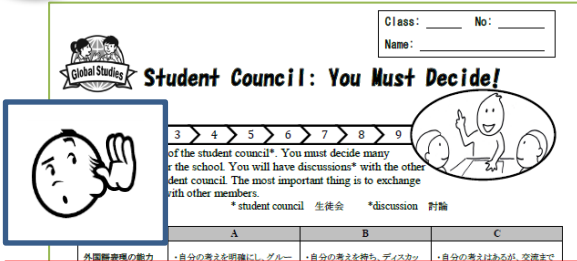


国の進める英語教育よりも、授業時間を増加して実施します。

# 「グローバル・スタディ」とは！

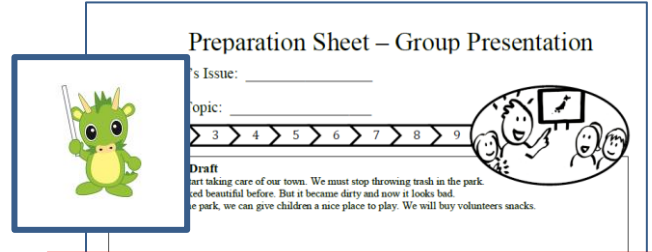
より実践的な学習により、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能をバランスよく指導

**聞く** 正確に必要な情報を聞き取る力の育成



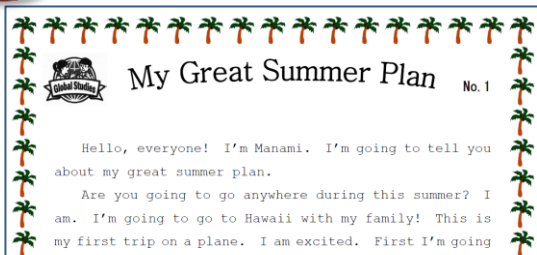
ディベートやディスカッションにより、相手の伝えたいことや必要な情報を適切に聞き取る力が向上します。

**話す** 自分の考え等を表現する力の育成



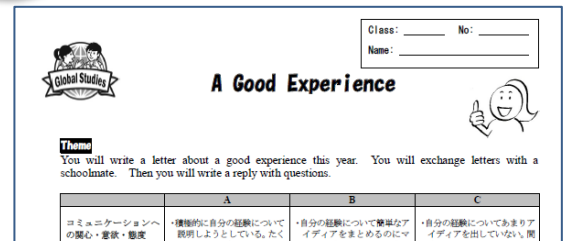
プレゼンテーションにより、相手に分かりやすく伝える表現力が向上します。

**読む** 多読用教材による読む力の育成



教科書に加えて本市独自に作成した読み物教材（多読用教材）で、身近な話題にも親しみ、読む力が向上します。

**書く** 実生活に生かすことのできる書く力の育成



身に付けた技能や表現方法を活用し、英語でのメールや手紙等、実生活で生かすことのできる書く力が向上します。

## 伝統や文化への誇りをもち、グローバルな視野をもつ生徒の育成



グローバル・スタディでは、各教科等とも関連させながら、我が国やさいたま市の伝統や文化への理解を深め、日本人としてのアイデンティティを醸成します。自分の将来の夢や進路とも関連付け、よりグローバルな視野をもつ生徒を育てます。

## グローバル・スタディQ&A

Q1 英語ではなく、「グローバル・スタディ」という名称にしたのはなぜですか？



**A** 英語の学習をとおして、地球的な視野に立ち、世界の中の日本を意識させながら、自分の考えをもつこと、主体的に課題を解決することや異文化を理解し、他者を尊重する心を育てることなど、グローバル社会を生き抜く力を養っていきたくと考え、「グローバル・スタディ」という名称としました。

Q2 中学校ではコミュニケーション活動が多く、高校入試に向けて不安がありますか？



**A** 「グローバル・スタディ」では、「聞く」「話す」「読む」「書く」の4つの技能がバランスよく身に付くようカリキュラムが作られています。高校入試では主に「聞く」「読む」「書く」力が試されることとなりますが、学校での「グローバル・スタディ」の授業にしっかりと取り組んでいれば、高校入試に向けた学力を十分に身に付けることができると考えます。

詳しくは…

さいたま市教育委員会学校教育部指導1課

〒330-9588 埼玉県さいたま市浦和区常盤6丁目4番4号 TEL. 048-829-1662